

P-B-7

ターミナリア・ベリリカの中性脂肪上昇抑制効果

Terminalia bellirica reduces postprandial triglyceride levels

○廣田 直樹¹⁾, 草場 宣廷¹⁾, 池口 主弥¹⁾

1) 株式会社東洋新薬

Terminalia bellirica is a broadleaf tree distributed over the tropics. The fruit has been used for medicine or food for a long time in India and neighboring countries. Our previous *in vitro* study revealed that *Terminalia bellirica* showed inhibitory effects on pancreatic lipase activity. In this study, we investigated inhibitory effects of *Terminalia bellirica* on elevating postprandial serum triglyceride levels in 22 healthy adults fed a high-fat diet.

【目的】

ターミナリア・ベリリカは熱帯地方に分布している広葉樹であり、その果実はインドや近隣諸国において肝保護や血中脂質低下などの薬品・食品として古来より使用されている。我々は、*in vitro* 試験において脂質分解作用に対するターミナリア・ベリリカの影響を調べ、膵リパーゼ活性阻害作用を有することをすでに確認している。そこで今回、ヒトでの食後血中中性脂肪（TG）の上昇抑制作用を検討した。

【方法】

健康成人 22 名（平均年齢 31.4±10.0, 男性 15 名, 女性 7 名）を対象として試験を実施した。被験者を高脂肪食（440kcal, 脂肪 40g）を摂取させたコントロール群および高脂肪食とターミナリア・ベリリカ 300mg を摂取させたターミナリア・ベリリカ摂取群の 2 群に分け、クロス・オーバー試験を行った。被験者には試験前日夕食後より試験終了時まで絶食させ、採血を摂食直前および摂食後 2, 4, 6 時間後に行い、血中 TG を測定した。

【結果】

被験者 22 名のコントロール群およびターミナリア・ベリリカ摂取群の食後血中 TG のピーク値を比較したところ、ターミナリア・ベリリカ摂取群は有意な差ではないもののコントロール群より低値を示した。さらに、コントロール群において食後血中 TG のピーク値が 100mg/dL を超える被験者（n=8, 年齢 31.5±11.6, 男性 6 名, 女性 2 名）に絞って同様の解析を行った。その結果、ターミナリア・ベリリカ摂取群はコントロール群と比較して有意な低値が認められた（ $p<0.05$ ）。

【結論】

食後血中 TG が高めの被験者において、ターミナリア・ベリリカ摂食群の血中 TG はコントロール群と比較して低値を示した。今回の結果より、ターミナリア・ベリリカが食後血中 TG のピーク値が高めの方（100mg/dL 以上）の食後血中 TG 上昇を抑制することが示唆された。このことから、ターミナリア・ベリリカが食後血中中性脂肪改善に有益であることが期待される。